

2006年度 第6回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<確定稿>

開催日時：2006年10月10日(火) 午後7時15分～8時15分
開催場所：西東京ボランティア・市民活動センター活動室
出席委員：熊田博喜、坂口和隆、瀧島喜重、安岡厚子、山下恭子
<以上5名、敬称略、あいうえお順>
欠席委員：阿部靖子、飯塚 睦、柳澤正樹 <以上3名、敬称略、あいうえお順>
事務局：齊藤 睦(地域福祉課長)、中澤一郎(主事)、今林朝香(コーディネーター)
平田典子(コーディネーター)、丸木 敦(係長)

配布資料

資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(9月)
資料 2：コーディネート状況等月次報告
資料 3：西東京ボランティア・市民活動センター予定表(10月)
資料 4：2006年度第4回災害時のシステムづくり専門委員会会議録<確定稿>
資料 5：2006年度第4回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<未定稿>
資料 6：ノートパソコンの貸し出しについて(案)
資料 7：「災害に備えて」、「災害時の」西東京ボランティア・市民活動センターの役割
資料 8：災害ボランティア・センターの立ち上げにあたって
資料 9：ホームページアクセス状況
資料 10：広報活動の現状とあり方
資料 11：2007年度ボランティア・市民活動経理区分補助金積算資料

委員長：3人の委員から本日の運営委員会の欠席の連絡があったが、出席委員は過半数を超えており会議は成立するので第6回運営委員会を始めたい。

1. 報 告 事 項

(1). 西東京ボランティア・市民活動センター業務報告

事務局より、資料1、2、3に基づき9月期の業務、コーディネート状況の報告および10月期の業務予定の報告が行われる。

委員長：9月の業務報告および10月の予定の報告が事務局からあったが、質問や意見はあるか。

質問、意見なく、9月期の業務報告および10月期の事業予定の報告を終了する。

(2). 災害時のシステムづくり専門委員会活動報告

事務局より、資料4に基づき災害をテーマにした講演会の企画、災害まち探検ワークショップの実施予定、および第4回災害時のシステムづくり専門委員会(以下、災害専門委員会と表記)の協議内容について報告がある。また、市民から災害専門委員会委員になって活動したいという申し出があった旨報告がある。

委員：最近、ボランティア活動が就職の時に有利などの理由で活動する人増えているが、災害専

門委員になりたいという動機は確認したか。

事務局：新潟県中越地震の時に地域の中でのつながりが大切ということを感じ、自分に何かできないかと探し、市役所に相談したところ当センターを紹介されたとのことであった。もう一人はすでに災害関係のNPO法人を立ち上げ、活動している人である。

委員長：途中でやめるのではなく、最後までやってくれることが大切だと思う。委員就任への手続きはどのようにするのか。

事務局：災害専門委員会では、委員会を一度見学してもらって、本人の意思を確認することになっている。それを待ってから運営委員会で承認をしていただきたい。

他に質問、意見なく、以上で災害専門委員会の活動報告を終了する。

2. 審 議 事 項

(1). 2006年度第5回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録について

資料5により、第5回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録の確認を行う。

委員：出席委員に間違いがあるので訂正するように。

委員長：11ページ11行目「意義なく、～」を「異議なく、～」に、「～1名増員するにあつたつての～」を「～1名増員するにあたっての～」に訂正するように。

以上、意見が出され、指摘箇所を修正したうえで第5回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録（未定稿）を確定稿とすることを承認した。

(2). ノートパソコンの貸し出しについて

事務局より資料6に基づき、ノートパソコンの貸し出しについての目的、方法の説明があり、貸し出しの提案がされる。

委員：ノートパソコンにインストールされているソフトウェアはどのようなものか。

事務局：ワードとエクセル、インターネット閲覧ソフトである。

委員：パワーポイントがインストールされていると活用されることが期待できるのではないか。

事務局：現在ある物を有効活用するという考えで、経費をかけずに貸し出しをしていきたいと考えている。

委員長：無料ソフトのオープンオフィス使ってはどうか。

委員長：個人情報の保護はだいじょうぶか。LANでパソコンをつないだ時に、事務所で管理している個人情報が貸し出したノートパソコンから見られないようにする必要がある。また、貸し出したノートパソコンに情報が残らないようにすることも考えなければいけない。ウェブメールだとクッキーが残ってしまう。

事務局：どのような方法があるか調べて対処したい。

委員：1時間100円で貸し出すということだが、金額設定の際に他地区の状況は調べたのか。

事務局：他地区のボランティア・センターでパソコンを貸し出しているところがほとんどなく、あっても無料で貸し出している。そこで、西東京市内や近隣市にあるインターネットカフェを調べた。インターネットカフェよりも低額で設定した。

委員：ノートパソコンを利用するのに活動室利用の予約は必要か。

事務局：午前中は活動室の団体予約を受けているので、パソコンを使用する際は午前中は予約が必要となる。

委員：予約が必要となると、都合のよいときに活動室に来てインターネットを気軽に使うということにはならないのではないか。

事務局：現在の活動室の利用状況として、団体用ロッカー、コピー機を置いていることから、予約した団体が活動室を利用していても、他の人が入室したり、隅を使わせてもらって作業したり

などお互いに譲り合って使用してもらっている。ノートパソコンを使ってもらう時もそのようにお互いに譲り合ってもらおうよう働きかけたい。

委員：どのような方法でノートパソコンの貸し出しについての広報をするつもりか。

事務局：ぼらんていあ倶楽部やホームページ、社協だよりで広報することを考えている。

委員長：今回の提案はノートパソコンを貸し出すということだが、このノートパソコンを売って収益とするということはどうか。

事務局：リースアップしたパソコンの活用ということであり、売るとなるとリース業者との話し合いが必要となる。おそらく売ることは無理ではないかと思う。

以上、ノートパソコンの貸し出しについて協議した結果、事務局が提案したとおり承認され、次回理事会に諮ることとした。

(3). 災害時のボランティア・市民活動センターの機能・役割について

事務局より、資料7, 8に基づき、災害ボランティア・センター立ち上げ時の考え方、課題について説明がある。

委員長：職員の掌握とはどのようなことか。

事務局：災害が起きた後に動ける職員が何人いるかということ把握することが必要と考えている。

委員長：災害ボランティア・センター立ち上げ時にかかる諸費用については、共同募金会から準備金が出ることになっている。災害ボランティア・センター立ち上げにあたっての課題を検討する際に、平常時に準備しておくこと、災害が起きた後に対応するものに分けて整理する必要があるのではないか。

委員：近隣の社会福祉協議会、ボランティア・センターとの連絡調整の体制はどうするか。

事務局：災害時の他地区の社会福祉協議会への応援要請など協力関係は、関東甲信越地域間においては都道府県レベルの社会福祉協議会で協力関係ができていると聞いている。

委員：災害が起きた時には他地域も壊滅的になっているので、直接的に連携できるような関係を築いてはどうか。

委員長：社会福祉協議会やボランティア・センターだけでなく、全国レベルで活動している市民活動団体とも連携できるようにしたほうがよい。そういった団体とのネットワークづくりが必要だと思う。災害ボランティア・センターでの運営委員会の役割はどうか。運営委員会として権限が与えられているので、組織論として議論したほうがよい。検討課題の項目として、運営委員会の役割を挙げてはどうか。

以上、災害ボランティア・センター立ち上げにあたっての課題について協議し、引き続き運営委員会で検討すること、本日の協議をもとに災害時のシステムづくり専門委員会においても協議することを確認する。

(4). 広報のあり方について

事務局より、資料9, 10の説明を行う。

委員長：ホームページをどうやって検索にひっかかるようにするかを検討したほうがよい。アクセス数を見ると、比較的多くの人に見られていることがわかるので、もっと活用したほうがよい。今日の運営委員会では時間がないので、この議題については次回以降継続審議したいがどうか。

広報のあり方について、次回以降も継続して協議することを異議なく確認した。

(5). 2007年度事業実施に伴う西東京市への補助金の申請について

事務局より、資料11に基づき2007年度事業に伴う西東京市への補助金申請について提案がある。2006年度と異なる事業を中心に説明がある。

委員長：予算的な議論の中で事業案が出されるのは順序が逆ではないか。まずは2007年度にどのような事業を行うかの審議があってからそれに伴って予算を考えなければいけない。

事務局：新規事業については、7月以降の運営委員会で協議をしていただき、その結果に基づき予算化した。

委員長：2007年度の補助金申請額は、今年度と比較して異なるのか。

事務局：事業費における西東京市からの補助金額は2006年度は5,767,546円であった。2007年度の申請額は5,917,055円で前年比149,509円の増となっている。

委員：独自収入は今年度と比較してどうか。

事務局：独自収入を2006年度予算と比較すると、参加費収入は530,000円で212,000円の減。これは、回想法講座を2007年度は実施しないことによるところが大きい。販売収入は100,000円の増。合計で102,000円の減となっている。

委員：昨年の市民まつりでどの収益はどうだったのか。

事務局：昨年、市民まつりで急遽物品の販売を行ったが、その収益は約8,000円だった。今年と来年は最初から収益が出る内容で市民まつりに参加したいと考えている。

他に意見、質問なく2007年度事業実施に伴う西東京市への補助金の申請について承認される。

(6). そ の 他

委員長：11月に行われる市民まつりへは、運営委員は関わらなくてよいのか。

事務局：まだ、詳細が固まっていないので、明確になってから各委員へ連絡をしたい。それまで待つてほしい。

委員長：それでは、事務局からの連絡を待つて、市民まつり当日協力できる委員はよろしく願いしたい。

委員長：本日の運営委員会はこれで終了する。

以上をもって、2006年度第6回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の審議を終了し、散会する。